

田無公民館

中高年男性  
対象講座

団塊ユメ追い塾

若き日の夢を求めて

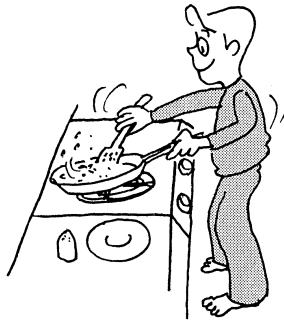


さて、定年間近、これから地域での活動を考えているあなた  
その第一歩を公民館から踏み出してみませんか。フラダンス・  
ライフプラン・料理など、新たな自分の発見は、この講座から。  
とき＝別表のとおり 毎週土曜日  
ところ＝田無公民館

対象＝おおむね50歳以上の市内在住・在勤の男性  
定員＝16人(申込順)

講師＝フラダンス：須江道子(ハワイアンフラ・インスト  
ラクター)、ライフプラン：  
松本世樹(第一生命保険  
ファイナンシャルプラン  
ナー)、料理：吉田朋子(管  
理栄養士)

その他＝料理は材料費を別  
途徴収  
申込＝1月5日(金)10時か  
ら電話で田無公民館へ



谷戸公民館

哲学の広場

(第5回)

深く問い、徹底的に考えよう。  
ルールに則った対話を通して本  
質に迫ろう。「哲学の広場」はそ  
んな場所です。哲学史や哲学者  
についての知識は要りません。  
みずから哲学を「する」ことを  
体験してみましよう。

対象＝市内在住・在勤・在  
学者  
定員＝20人(申込順)  
案内人＝木島泰三(法政大学  
講師)  
申込＝1月5日(金)10時から  
電話で谷戸公民館へ

今回は「仕事と遊びの境界は  
どこか」をテーマとして取り上  
げます。新鮮な視点、しなやか  
な思考回路の獲得に、ささやか  
でもつながればと思います。  
とき＝1月21日(日)  
14時～16時  
ところ＝谷戸公民館



保谷公民館

ムービールーム柳沢

ところ 保谷公民館  
申込 当日、上映30分前から受付をします。直接視聴覚室までお越し  
下さい。上映時間前に入場にご協力をお願いいたします。  
定員 100人(先着順)

「大菩薩峠」

(1960年/1961年)  
1月12日(金)14時～(304分)  
原作：中里介山 脚本：衣笠貞之助  
監督：三隅研次  
出演：市川雷蔵 本郷功次郎  
中村玉緒 山本富士子

中里介山作の長編時代小説の映画化。  
市川雷蔵主演。  
作者は「大乘小説」と呼び、仏教思  
想に基づいて人間の業を描こうとした  
作品。

「乱」

(1985年)  
1月24日(水)14時～(162分)  
監督：黒澤明  
脚本：黒澤明 小国英雄 井出正人  
出演：仲代達矢 寺尾 聡 根津甚八  
隆 大介 原田美枝子

戦国時代を生き抜いた武将秀虎は、  
実権を3人の息子たちに譲ることにし  
たが…。  
戦国時代ならではの、「戦」のシー  
ンは時代劇ファン必見！  
骨肉の争い、人間の欲を描いた作品。

谷戸公民館

近代建築への  
案内

東京にも、明治期以降に建て  
られた近代建築が残っています。  
特に丸の内付近は見ごたえのあ  
る建物が多く人々を魅了してい  
ます。また、これらの建物も修  
復、保存の問題を抱えています。  
豊富な映像資料を使って魅力  
に触れてみましょう。  
とき＝別表のとおり 毎回  
火曜日 14時～16時  
ところ＝ 谷戸公民館  
江戸東京たてもの園

回	日	内 容
1	1/23	丸の内の変遷
2	2/13	江戸東京たてもの園見学
3	3/20	近代建築保存の動向

対象＝市内在住・在勤・在  
学者  
定員＝30人(申込順)  
講師＝米山勇(建築史家・  
江戸東京博物館助教授)  
見学会の入館料・交通費は自  
己負担。  
申込＝1月10日(水)10時から  
電話で谷戸公民館へ

～保育室交流事業～

保育室オープンデー

田無公民館  
461-1170  
◆ぼっかぼが田無  
1月18日(木)  
10時～正午

公民館の保育室で、  
親子一緒に遊びま  
しょう！  
子育ての情報交換  
もできますよ。  
対象＝2歳児まで  
の乳幼児と保護者  
10組  
申込＝1月5日(金)  
10時から田無公民館  
にお申込ください。

2・3面中央の  
ことばを  
ご説明しましょう

4月号から、2・3面見開き  
中央に、次のことばを掲載して  
います。  
「公民館は住民の自由なたまり  
場です」  
「公民館は住民の集団活動の拠  
点です」  
「公民館は住民にとつての『私  
の大学』です」  
「公民館は住民による文化創造  
のひろばです」

この4つの短文は、実は公民  
館だより編集室が任意に創作し  
たものではありません。新しい  
公民館像をめざして」という、  
公民館関係者の間では有名な文  
書の中に書かれている「由緒あ  
る」ものなのです。  
\* \* \*  
「新しい公民館像をめざして」  
は、通称「三多摩テーゼ」と呼ば  
れています。「テーゼ」とは提議、  
提案、あるいは運動の方針を示  
す綱領といったほどの意味です。  
「三多摩テーゼ」は、一九七四  
年に東京都教育庁が発行した公  
文書です。その作成委員に三多  
摩の社会教育・公民館職員が研  
究員として関わり、その後の三  
多摩各地の公民館作りにも大き  
な役割を果たしてきました。

\* \* \*  
第一部「施設論」第二部「職員  
論」から構成されています。施  
設論の冒頭、「公民館とは何か」  
として公民館の4つの役割が提  
示されています。それらを端的  
に示したのが、先の4つの短文  
なのです。  
\* \* \*

「住民の自由なたまり場です」  
テーゼの中では、都市化の下  
での市民の孤立という状況を踏  
まえて述べられました。「ひとり  
でも気軽に積極的な足をむける  
ことができるようなムードのあ  
る場」であり、学習やグループ  
活動に参加するきっかけとなる  
「自由なたまり場、自己解放の  
場として公民館があるのです」  
とされています。

「住民の集団活動の拠点です」  
集団活動に必要な部屋、活動  
準備室、交流コーナー、保育室  
などが公民館には必要だと述べ  
ています。住民の集団活動の活  
性化が、地域の文化の創造・発  
展につながることを願っていま  
す。  
「住民にとつての『私の大学』  
です」  
地域課題と世界情勢はつな  
がっていて、人間存在の根本問  
題や全世界的視野での問題を学  
習内容としてもつことが必要  
と述べています。根源的で継続  
的な学習の場という考え方が  
『私の大学』という語に込めら  
れています。

「住民による文化創造のひろば  
です」  
前記3つの役割は相互に関連  
し合い、「教育的・文化的な雰囲気」  
の中で、生活に即した文化  
の発展が期待されています。  
\* \* \*  
「テーゼ」から30年以上が過ぎ、  
市民生活も社会情勢も大きく変  
化しました。しかし、この4つ  
の役割は今でも全国各地の公民  
館に引き継がれ、公民館を照ら  
す指針となっています。温故知  
新。皆さんも、「三多摩テーゼ」  
を今日的に、自分流に読み替え  
てみてはいかがでしょう？